



学校だより

名古屋市立

高針台中学校

R 6.3.22 NO.14

☆ 修了式

3月22日（金）に行われた修了式での校長講話をご紹介します。

先程、みなさんの代表の人たちに修了証を渡しました。今日で、令和5年度が修了します。この1年間を振り返り、みなさんはどのような道をたどって今日に至っているかをじっくり考えてほしいと思います。

そこで、今日は、「今の自分をつくりあげているものとは何か」について話をします。

私たちが生活している毎日は、常に分かれ道、言い方を変えれば分岐点があって、どの道を選ぶかの判断を常にしています。その積み重ねによって今日に至っていると思います。

例えば、分岐点には次のような道があると思います。

「人の話を軽く聞き流すか、理解しながら聞くか」

「配られたプリントなどを流し見て片付けるか、理解しながら見るか」

などです。そして、この分岐点にはさらに別の道があります。それは、

「聞いたり見たりしたことを自分に生かそうとするか」です。

分岐点の中には、人を成長させるチャンスがあるということです。

現段階の自分から成長するチャンスというものは、授業・部活動・委員会活動や先生・仲間の話など、どこにでもあると思います。これは、学校生活に限らず家でも、テレビやインターネットなどの情報やお家の人の話、自身が経験する出来事など様々です。

このように考えていくと、成長するチャンスは誰にでも同じようにあると思います。でも、そのチャンスを生かすことができるかは、すべてあなた自身がどのような判断をするかにかかっています。

いつ、どのような場面で自分を成長させるチャンスに遭遇するかは分かりません。だから、いつでもチャンスをつかむことができるように、「どんなことからでも学んでいこう」とするどん欲な姿勢が大切になってきます。

私は、今日話をしましたが、この内容をどのように聞くかはあなた自身の判断です。同様に、この後の離任式でのあいさつ、さらには学活で担任の先生からの話もどのように聞くかはあなた自身の判断です。

今のあなたをつくりあげているもの、それは、「あなたが日々の生活で遭遇したいくつもの分岐点で下した判断」です。そして、「みなさんが歩んでいる自分の人生は、自分自身の責任でつくりあげていく」のです。

今日の話と踏まえ、春休みの16日間を利用して、この1年間あなたは分岐点でどのような判断をしてきたかについて冷静に振り返り、新しい学年でどのように過ごしていくかを考えてみてください。

それでは、4月8日の始業式に元気で登校するみなさんを待っています。